

ゼミ I の概要

教務委員長
寺内 一

「ゼミ I」という授業科目は、本学の全1年生が必ず単位修得をしなければならない最も重要、かつ、基本的な科目です。

学生が学習・生活の両面において主体的、能動的に行動すること、そして将来に向けて自己を確立するという人間形成の一助とすることを目的として、平成14年度に初年次教育の中核として新たな内容によってスタートした科目です。18歳人口の減少や、大学進学率の上昇等による、「大学のユニバーサル化」現象は、学習意欲の低下、進学目的の希薄化、結果としての退学者の増加といった問題を生じさせることとなりました。そのような全学的な問題に対応するため、それまでに培ってきた本学の少人数教育のノウハウと小規模大学故の利点を生かし、従来多くの部分を各教員の裁量に委ねていた教育内容を原則として全クラス同一とし、さらに、各教員には自ら積極的に学生に関わりながら、学習面は当然のことながら、学生の自己認識や将来の目標設定等に関する「アドバイザー」としての役割を担当してもらうこととしました。以下に、「ゼミ I」の授業内容の概要をご紹介します。

平成22年度の「ゼミ I」は、基本的には学部別編成による1クラス約16名、合計で43クラスが開講されています。授業では、次の4つの視点による内容が開講されています。

①スムーズな大学生活への視点

- 入学式直後の学外オリエンテーションによる担当教員、先輩との交流や友人づくり
- 図書館利用説明会、学内施設の説明等

②スタディ・スキルの視点

- 文章作成力の養成と効果測定のための課題文の作成(入学前と夏期休業中)
- ノートテイキングのノウハウ等の学習と効果測定のための共同授業等

③課題探求型学習の視点

- 専門科目、専門ゼミの学習へ向けた、問題発見・解決能力、論理的思考能力、コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力の養成と効果測定のための共同授業等

④キャリアの視点

- 一般常識養成のための「ガンバレ高千穂10分勝負」の実施
- 「がんばれ高千穂-キャリア編パワーアップ-」による自己理解等

最後に、前述したアドバイザーとしての役割に関連する「学生生活目標管理シート」と「高千穂マスタープラン」についてご説明します。「高千穂マスタープラン」とは、本学の4年間について、授業・ゼミ、就職活動、学生生活全般の主な行事とその内容を示したもので、学生が4年間の大学生活(いつ、何をといったもの)を計画するために参考となるものです。「学生生活目標管理シート」とは、「高千穂マスタープラン」を参考に学生が設定した目標やその進捗度、そして反省点等について記入し、最低各学期に1度はアドバイザーである教員の助言を受けながら、常に現状を認識し今後の方向性を見極めるための資料となるものです。

以上のような、いくつもの取り組みを行いながら、学生一人ひとりの成長をサポートするための場が「ゼミ I」であり、その基本方針および方法は、2年次以降の専門ゼミにおいても継続して展開されています。



ゼミナール連合本部の活動

ゼミナール連合本部 委員長
人間科学部 3年
かずし
渡辺 一充

ゼミナール連合本部とは本学教育におけるゼミナール重視の本旨にのっとり、各ゼミナール相互の連絡、親睦と研鑽を図ること及び各大学との連絡や親睦、協力を図ることを目的として活動している学友会所属の団体です。本年度は第36期役員として2年生6名・3年生6名・4年生4名の合計16名で活動しています。

学内の活動としては、主に毎月開催される「ゼミナール連合委員会」の運営をしています。ゼミナール連合委員会というものは、各ゼミナールに所属している学生に対して連絡事項を伝えるための会議です。その他にも、1年生が次年度の専門ゼミを選ぶための参考となるような「PRイベント」などの、様々な行事の企画・運営を行っています。また、ゼミナール連合本部が企画・運営をする最も大きな行事としては、ゼミ発表会があります。このゼミ発表会は他大学に例を見ない、1週間をかけて行う大規模な行事であり、本学の誇れる行事の1つです。

昨年度のゼミ発表会参加パート数は100パートに上りました。本年度は99パートがゼミ発表会への参加を予定

しています。開催予定日は11月8日(月)～11月12日(金)です。ゼミナール連合本部はゼミ発表会に参加する学生が集中して発表出来るよう運営をしっかりと行い、充実したゼミ発表会にするため日々準備を行っています。

学外の活動としては、日本学生経済ゼミナールに加盟しており、インナー大会・インター大会の運営のサポートや本学から大会に参加するゼミのサポートを行っています。これらの大規模な大会の運営に携わることで、他大学のゼミ連協と交流し、親睦を深めています。本年度はインナー大会が日本大学、インター大会が中央大学で開催されます。興味のある方は是非足を運んでみてください。

このようにゼミナール連合本部では様々な活動を行っています。各行事の詳細は学内掲示やゼミ連ホームページにてお知らせします。

本年度は各行事を参加者に満足してもらえるようなものにし、私達役員もそれぞれが納得できるような運営を目指し努力していきたいと思えます。皆様の暖かいご声援のほどよろしくお願い致します。

■公開ゼミ

(平成22年10月5日～11月20日)

「公開ゼミ」とは、来年度専門ゼミ(ゼミⅡ)の履修を希望している学生を対象に、実際の研究やゼミの雰囲気を知ることができるように、普段の専門ゼミを公開し、希望学生が訪問できるという貴重な内容です。専門ゼミを選択する際には多くの資料が配布されますが、実際のゼミ活動をみられるのはこの「公開ゼミ」のみです。ゼミ選択の参考にしてください。なお、各ゼミの時間・教室は時間割もしくは1号館掲示板にて確認してください。

■ゼミPRイベント

(平成22年10月4日)

「ゼミPRイベント」とは、2年次に専門ゼミを履修しようと考えている学生を対象に、上級ゼミ生が自らのゼミをわかりやすく、学生視点で紹介、説明、発表を行います。「公開ゼミ」や「ゼミ発表会」で得ることができない情報などが入手できるかもしれません。なお、この「ゼミPRイベント」は同時開催される「コース(専攻)・ゼミ履修ガイダンス」終了後に続けて行います。

■ゼミ発表会

(平成22年11月8日～11月12日)

「ゼミ発表会」とは、約30年前から毎年開催されている本校伝統行事で、開始当初よりプレゼンテーション形式による発表会を行っており、他大学等からも高い評価をいただいているものです。この「ゼミ発表会」にはゼミⅡ以上の専門ゼミが日頃研究してきた成果発表を行います。今年度は99パートが参加します。この「ゼミ発表会」がゼミ申込前最後のイベントとなっています。1つでも多くの発表を聴講し、ゼミ選択の参考にしてください。

Seminar I

学友会コーナー

体育祭

平成22年6月5日(土)第41回体育祭が、午前の部を体育館、午後の部は学内グラウンドに分けて開催されました。梅雨入り間近で天候が心配されるなか体育館では、部対抗サーキットリレーやチーム対抗ドッジボールが行われ、午後からは晴天となり、グラウンドで50メートル走、借り物フィリングカップル、大縄跳び、さらにフレッシュズオリエンテーションの綱引き大会上位入賞ゼミIの決勝大会が行われ、部活動に所属していなくても、楽しめるプログラムとなっていました。特にゼミI学生は、綱引き大会だけでなく50メートル走や大縄跳びにも積極的に参加し、また、高千穂祭実行委員会からも午前の部、午後の部ともに多数の参加があり、体育祭を盛り上げてくれました。

今回の結果は、団体優勝が体育会の各部を押さえて高千穂祭実行委員会、準優勝は昨年の優勝チームの軟式野球同好会とバスケットボール部が同点で分け合い、第3位は排球部となりました。

なお、4月に行われたフレッシュズオリエンテーションのゼミI対抗綱引き大会の優勝決定戦は、優勝百瀬ゼミI、準優勝竹内ゼミI、第3位は新井ゼミIとなりました。



六月祭

学術文化団体連合会主催の六月祭は6月24(木)~26(土)の期間開催され、文連所属の団体が音楽祭・芸術祭・ニューカレッジコンテストの3つのジャンルに分かれ、日頃の成果を発揮しました。学生が審査員として参加しておりアットホーム感あふれるイベントでした。

例年平日開催なので友人が日頃の成果を発表している姿をぜひ一度ご覧になって下さい。



高千穂祭

この行事は毎年お笑いライブやコンサート、更には部活動やゼミが模擬店を出店するなど高千穂大学が誇る一大イベントです。子供から大人まで楽しんで学生をはじめ地域住民の皆様や幼稚園生など幅広い来客層となっています。展示物や音楽イベントなど様々なイベントが催されますので、皆様是非お越し下さい。



クリーンアップキャンペーン

7年目となるクリーンアップキャンペーンはゼミ所属学生とクラブ所属学生が学友会役員とともに校内・大学付近の清掃を水曜日と金曜日の昼休み時間を利用して行っています。



学友会からの お願い

4月に新入生を迎え、学内も活気に溢れています。クラブ活動や授業に夢中になっていないのでしょうか。

さて、学内における喫煙のマナーですが、ここ数年で改善されている一方で、未だにポイ捨てや指定場所以外での喫煙が目立つ時があります。自分だけの大学ではありません。皆さんが気持ちよく使えるように協力してマナーを守りましょう。

また、学友会が開催する競技大会をはじめ、高千穂祭やゼミ発表会など積極的に行事に参加してほしいと思います。部活動の仲間やゼミの友達など、皆さんで大学行事を盛り上げていきましょう。

高千穂同窓会

平成22年度大学創立60周年記念 高千穂学園同窓会総会・懇親会の報告

高千穂学園同窓会総会・懇親会が、五月晴れの好天に恵まれた平成22年5月22日(土)高千穂大学のセントラルスクエアにて開催されました。

本年度は、高千穂大学が昭和25年に高千穂経済専門学校から高千穂商科大学に昇格し創立60年の節目の年にあたり、大学創立60周年記念総会・懇親会を実施しました。これを記念し「大学第一回卒業生の会」「還暦の会」「ホームカミング(対象は大学卒業後10年目・20年目・30年目の方々)」などを企画、又お祝いとして記念品を製作しお渡ししました。

総会は、福田同窓会会長の挨拶、学園側から藤井理事長の学園を取り巻く環境及び現況と課題について、引き続き成田学長からは今年度の入学者の状況、卒業生の就職動向について報告がありました。

引き続き議事に入り議長は、平成21年度事業報告及び収支決算(案)の報告と平成22年度事業計画及び収支予算について金子副会長を指名し一括して説明が行われました。

平成21年度事業報告では、高千穂幼稚園創立百周年記念事業へ液晶テレビ5台を寄贈、大学支援は今年度導入した高千穂大学同窓会奨学金を15名に支給しました。同窓会本事業としては、会員の会費納入の利便性のためにコンビニ振込みを導入し納入件数が増えたことなどが説明されました。大塚監事から適正に処理されている旨の報告がされました。

平成22年度事業計画は、大学支援では「学業成績優秀者へ

の奨学金の授与」「ゼミ・クラブ活動などに対する支援」を推進していくことの報告がありました。

議案は全て異議なく承認され総会は無事終了しました。引き続き大学支援事業である学友会諸団体への表彰に入りゼミ・クラブ諸活動への奨励金の贈呈を行いました。対象クラブは強化クラブである硬式野球部、アメリカンフットボール部と今後の活躍を期待して硬式テニス部に総会に出席しているOB諸兄の見守り中、福田会長から贈呈されました。

同会場で大学創立60周年「同窓会記念講演会」を行いました。講師は経済学博士、元高千穂商科大学兼任教授である兼子春三先生、テーマは「高千穂の思い出」、司会はゼミ生であった倉茂道徳教授の司会進行で行われました。講演の中で先生は4号館とセントラルスクエアの間にある石碑「勸学の碑」は本学の設立時に支援いただいた沢沢栄一著によるもので日本では高千穂大学にしかなく大変貴重なものである。また、大学に昇格時の文部省への申請手続きが大変だったことなど、当時のことをお話いただきました。

大学創立60周年記念同窓会懇親会は会場を4階に移し145名が出席し盛り上がりました。

時間が過ぎるとあちらこちらで大きな笑い声が漏れる賑やかな懇親会となりました。最後に校歌をチャリーディング同好会のリードで、全員で高らかに斉唱し次回の再会を約束し散会となりました。



総会



兼子春三先生の「高千穂の思い出」



大学創立60周年記念懇親会



大学第一回卒業生の会



還暦の会



ホームカミング

Alumni Association

父母の会

平成22年度父母の会活動について ～父母懇談会と父母の会年間スケジュール～

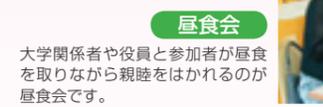
父母の会事務局



父母の会が最も力を入れている「父母懇談会」とは、理事長・学長をはじめとする大学の教職員が各地に向き、大学の近況報告や履修や就職等について保護者の方と懇談するものです。今年度は9月5日(日)東京会場(高千穂大学で実施)から9月26日(日)まで全国9会場で開催いたします。



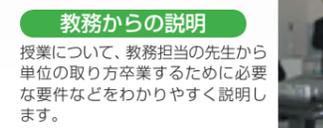
支部総会
支部長より、支部活動の報告、参加者の自己紹介等で打ち解けあったあと、新役員の選出を行います。各支部単位の総会です。



昼食会
大学関係者や役員と参加者が昼食を取りながら親睦をはかれるのが昼食会です。



大学からの近況報告
理事長・学長が大学の近況を報告いたします。



教務からの説明
授業について、教務担当の先生から単位の取り方卒業するために必要な要件などをわかりやすく説明します。



就職についての説明
保護者が最も気なる就職に関して、本学の取り組みについて等、就職担当の先生より説明します。



文化講演会
本学教員が教務深いテーマで講演します。普段、学生たちがどんな授業を受けているのか体験でき親の教養を高める機会となっています。



個別懇談会
東京会場ではゼミ担当の教員と直接相談することができます。他会場でも教員や職員が丁寧に相談を受けます。



懇親会
締めくくりは大学関係者と父母の皆様との交流会です。高千穂について学生達のことについてご自身のことについて語り合しましょう。

平成22年度 父母の会 年間スケジュール

月	日	曜	父母の会行事内容	父母の会本・支部役員会・行事
4	4・5	日・月	「父母の会総会」 フレッシュズオリエンテーション見学会	支部役員会開催(各支部にて)
5				支部役員会開催(各支部にて)
6			会報「黎明」22年度第1号の発行予定 「クォーター高千穂」の発送予定	第1回常任委員会(6/26) 支部役員会開催(各支部にて) 支部主催父母懇談会・大学見学会
7				支部役員会開催(各支部にて) 支部主催父母懇談会・大学見学会
8				支部役員会開催(各支部にて)
9				
9	19	日	「クォーター高千穂」発送予定	第2回常任委員会(10/16) 大学祭・大学見学会
10	22~24			
11	6・7	土・日	役員合同研修会(11月6・7日) 会報「黎明」22年度第2号の発行予定	第1回役員会 ゼミ発表会見学会 支部役員会開催(各支部にて)
12				支部役員会開催(各支部にて)
1	下旬		「クォーター高千穂」の発送予定	第2回役員会・新年会(1/22)
3	20	日	会報「黎明」22年度第3号の発行予定 「クォーター高千穂」の発送予定 父母の会主催「解散式」 総会リハーサル	

編集後記

▼クォーター高千穂第28号をお届けします。▼本号では「先生と近い高千穂大学」を具現化している特徴の一つである「ゼミナール」について紹介をしています。これからゼミを選択する1年生にとって一助になれば幸いです。▼春学期の授業が終了し定期試験が始まります、本号に定期試験の注意事項を載せていますので、履修要項と合わせて確認してください。▼定期試験が終わり夏季休業期間に入ると、ゼミや部活の合宿、友人とのレジャー等、数多くの行事があると思います。情報メディアセンターではノートパソコンやデジカメなどの特別貸出を行いますので積極的に活用してください。(編集室)

編集委員
●編集長 吉崎信彦
●委員 高橋 拓
深津 剛



喫煙に関するルールについて

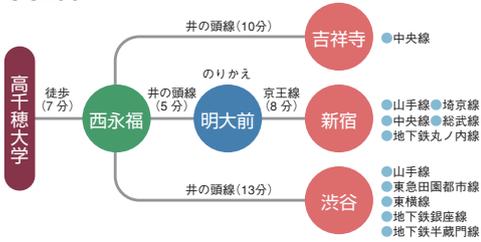
本学キャンパスのある杉並区では、条例により区内全域で、歩きタバコや吸い殻のポイ捨てを禁止(一部の路上禁煙地区では条例違反者から過料を徴収)しています。

本学においても、構内の指定された場所以外での喫煙は禁止とし、また、通学路等での喫煙についても歩きタバコや吸い殻のポイ捨てについては厳重に注意を与えています。

しかし、いまだにルールを守らない喫煙者が多く見受けられ、非喫煙者のみならず近隣住民の方々、ルールを守って喫煙している人にも多大な迷惑を掛けることとなっています。

高千穂大学の学生として、節度ある行動をとり喫煙マナーの向上を心がけてください。

ACCESS



- 山手線・新宿駅または渋谷駅から西永福駅井の頭線)まで13分
(新宿駅からの場合は、明大前のりかえ)
- 中央線・吉祥寺駅から西永福駅井の頭線)まで10分
- 西永福駅から本学まで徒歩7分

CAMPUS MAP



✉ soumu@gac.takachiho.ac.jp

Quarterly 高千穂 | Vol.28

Quarterly高千穂 第28号
発行責任者：吉崎信彦 発行：高千穂大学
〒168-8508 東京都杉並区大宮2-19-1 TEL 03-3313-0141
発行日：平成22年7月20日 無断転載・複製不可

